

授業科目

スポーツ運動学

担当教員名 佐野 淳	対象学年	1	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

運動学の内容を概説し、スポーツ現場における効果的な運動指導の実践理論について学習する。

授業の目的

実践現場の視点から、体育・スポーツにおける運動および運動指導の基本問題を理解する。具体的には、運動が習熟するということの基本的な流れを理解するとともに、そこには身体知が関わっていること、また指導ではその身体知的観点から学習者にアプローチしていくことが不可欠であることを理解する。

学習目標

1. 運動学の理論が現場の運動指導にどのようにかかわり合っていくのかを学ぶ。
2. 運動の指導における「観察」を理解する。
3. 基本的な動きの構造を理解する。
4. 動きの質的評価が現場の指導に重要な役割を果たしていることを学習する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション・ガイダンス	講義	佐野 淳
2	運動学の概念・目的	講義	佐野 淳
3	運動を分類する	講義	佐野 淳
4	運動の形成 1	講義	佐野 淳
5	運動の形成 2	講義	佐野 淳
6	動きの質	講義	佐野 淳
7	局面構造	講義	佐野 淳
8	運動リズム	講義	佐野 淳
9	基本運動系の発達	講義	佐野 淳
10	運動と身体知	講義	佐野 淳
11	運動創発と運動促発	講義	佐野 淳
12	創発身体知について	講義	佐野 淳
13	促発身体知について	講義	佐野 淳
14	運動指導における動きの観察	講義	佐野 淳
15	運動指導の臨床性	講義	佐野 淳

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	マイネル：スポーツ運動学	マイネル（金子明友訳）	大修館書店	1981年		
	身体知の形成 上	金子明友	明和出版	2005年		
	身体知の形成 下	金子明友	明和出版	2005年		
その他の資料						

評価方法

授業態度、期末試験

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。